

単
元
名

～くらしとごみ～

ごみを減らすくふうや取り組み

教科書出版社名 (教育出版)

○ 小学校 (4) 年 教科等 (社会)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

・地域の人の健康なくらしのためにごみが衛生的に処理され、資源の有効活用を進めていることを知り、よりよい社会について考えて学習したことを社会生活に生かそうとする力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

・目次や索引を使って自分が必要としている情報が書かれている本を選ぶ力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…必要な情報を探し、情報カードに書く。
- 整理・分析…思考ツールを使って情報カードに書き抜いた情報を整理する。
- まとめ・表現・発信…情報カードに書いた情報を使って新聞を作り、発表する。

○ 学習の展開 (全 12 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

第 1 次 ごみの種類を調べよう 学習の計画を立てよう (3 時間)	・ごみ調べや「ごみの分け方の表」をもとに、吹田市の 12 種分別についてとらえ、学習課題をつかむことができるようにする。 ・学習課題から、調べること・調べ方・まとめ方を話し合っで決め、学習の計画を立て、見通しを持つ。
第 2 次 ごみのゆくえ (5 時間)	・ごみの出し方や収集の仕方について、インタビューをしたり、調べたりする。 ・資源循環エネルギーセンター、破碎分別工場、くるくるプラザについて詳しく知る。 ・大阪沖埋め立て処分場について知る。
第 3 次 ☆ ごみを減らすくふう や取り組み (4 時間)	・学習や見学を通して学んだことをまとめ、自分たちにできることを考える。 ・ごみに関する資料や、吹田市のごみに関するグラフを読み取り、ごみを減らす工夫について考える。 ・本やタブレットを使って、ごみを減らす工夫について調べ、自分にできる取り組みを考えて新聞にまとめる。 ・新聞をタブレットで撮影し、クラス内で共有し、感想を交流する。

(本時 11/12 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
・資料に書かれている文章やグラフ・表などから自分に必要な情報を探することができる。
・本やタブレットで調べた情報の中から自分たちが実際に取り組める活動を選び、その活動について詳しく文章に書くことができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 今までの学習内容を振り返り、本時の課題を確認する。 ・「もえるごみの中にあるもの」のグラフを読み取り、工夫をすることで、ごみを減らせることに気付く。 ・家庭や市のごみを減らす工夫についてのインタビューを読んで話し合う。	・現状ではごみの中に資源が残ったままになっていることに気付かせる。
ごみを減らすために自分たちができることを考えて新聞をつくらう。		
20	2. 本やタブレットでなぜごみを減らさなければいけないのか、ごみを減らすためにどんなことができるのかを調べ、情報カードに書く。 ・調べた情報の中で、実際に自分ができそうなくふうが書かれている部分を探し出し、情報カードに書く。	新聞を見た人にごみの問題について興味を持ってもらえるよう、わかりやすいグラフや表が書かれた本を選んだり、タブレットで最新情報を調べたりする。
5	3. 情報カードを整理し、新聞のレイアウトを考える。	
10	4. 見出し文を考え、記事を書く。 ・グラフや表を取り入れ、わかりやすい記事にする。	新聞に本から得た情報を書くときは、出典を明らかにする。

図書館活用ポイント

